

2022年11月吉日

プレスリリース

安心な製品の提供と安全な施工のサポートに邁進します
エスビック株式会社



エスビック株式会社 CO₂排出量の削減目標に対して ブロック業界で初の中小企業SBT認定を取得

エスビック株式会社(本社：群馬県高崎市、社長：柳澤佳雄)は、「事業活動におけるCO₂の排出削減を最重要課題」として位置付け、科学的根拠に基づいた温室効果ガスの将来的な排出削減目標を設定し、国際的な共同イニシアティブである「Science Based Targets initiative (SBTi) ※1」より、中小企業SBTの認定を2022年9月1日付でブロック業界で初めて取得しました。この取り組みの中で、CO₂及び温室効果ガス排出量は、2030年度に2018年度比50%削減を目標と設定し全社で取り組んで参ります。



CO₂排出量の削減目標

【Scope1】と【Scope2】の排出量を、2030年度に2018年度比で50%削減する。

【Scope3】は排出量を測定し削減に取り組む。

CO₂排出量の範囲

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：事業者の活動に関連する他社の排出

※1 Science Based Targets initiative (SBTi) は、CDP、国連グローバル コンパクト、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) によって設立されたパートナーシップで、組織が科学に基づく排出削減目標を設定できるようにするグローバル機関です。

以上